



こまっ子

なぜ、桃響祭をやりたいのかな？

勉強はやりたくないけれど、桃響祭はやりたい、という人は少なくないように思います。もちろん、桃響祭はちょっと苦手、という人もいるでしょう*。それでも、桃響祭が楽しみ、やりたい、という人が多いのはなぜでしょうか。



それは、桃響祭に取り組む中で、**感動（心が揺さぶられること）と満足感を得られるから、そしてその感動を共有できるから**ではないかと私は思っています。感動や満足感、必ずしも勝ち負けには関係せず、目標をもって深く取り組んでいく中から生まれてくるものと思います。深くかかわるほど、深く取り組むほど返ってくる感動も大きいことでしょう。多くの仲間と取り組む中では、意見の対立もあるかもしれません。それに折り合いをつけていくことはとても気苦労

が多いことですが、そういったことを越えた先にこそ感動や満足感があると思うのです。

限られた時間とコロナ禍の中での取組ですが、感動と満足感が満載の桃響祭になることを願っています。

* 学園祭が苦手な人は、この取組だけが感動を得られる取組ではないことを知っていていいと思います。世の中には、感動や満足感を得られる場面は山ほどあるはずですが、もし、桃響祭の取組の途中で「頑張ったけど自分には無理だ」と思ったら、友達や先生にそう言ってください。避難することが必要な時もあります。



桃響祭の保護者参観について

9月19日（月・敬老の日）・20日（火）は、恒例の桃響祭を開催する予定です。保護者の皆様にもできるだけ自由にご覧いただきたいと願っていたのですが、今年度も新型コロナの状況が非常に芳しくないため、次のようにさせていただきたいと思います。ご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

19日（文化部門、会場は桃源ホール）

保護者参観は、**なし**（生徒が1席ずつ空けて着席するので、座席が確保できないため）

20日（運動部門、会場は中学校グラウンド）

保護者参観は、各家庭**2名まで** ⇒ マスクの着用、体調不良時は参加見合わせを

※感染状況が改善された場合は、変更させていただく場合もあります。
※桃響祭の様子は、白根CATVで後日放送していただく予定です。

進路のこと

令和4年度も残すところ7か月となりました。3年生は卒業後の進路決定に向けて、いよいよ緊張感が増してくる時期になりました。昔と違って様々な情報が集めやすくなっていますので、ありがたい面もありますが、逆に迷ってしまうことも多いかもしれません。

そのような中で、是非、生徒の皆さんにお願いしたいことがあります。ひとつは、どこに進むにしても、**最後は自分で決めてほしい**、ということです。迷うし、わからないし、苦しいかもしれませんが、自分で決めなければ、後々、納得して進んでいくことができなくなるかもしれません。

もうひとつは、進路先を、できるだけ自分の目で、耳で、**実際に見ておいてほしい**、ということです。やっぱり実際を見て感じることで、自信をもって決めることができると思います。



そして、皆さんが希望する進路に進んだあと、もし「ああ、やっぱり〇〇にしておけばよかった」と思ったとき、次の手はいくらでもあることを忘れないでください。進路を慎重に決めることはとても大切ですが、それがすべてではないのです。方向転換は、許されているしその方法も用意されていることを理解して、恐れ過ぎずに進路選択して行ってほしいと思います。

関東大会・全国大会への出場、おめでとう！

夏休み中の関東大会・全国大会に出場することができました。同じように頑張ってきた多くの生徒たちの代表として参加して、とても貴重な経験ができたと思います。これまでの努力を讃えるとともに、今後の一層の活躍に期待します。

○ 関東大会出場

ホッケー部（男女）、陸上部（小畑結希乃、遠藤華、中込愛大）、吹奏楽部（9月10日が関東大会です）

○ 全国大会出場

ホッケー部（男子）



同じ方向を向く？

環境美化委員が蒔いてくれたひまわりの種が、大きく成長して花壇をにぎわせています。太陽光をたくさん吸収して、今は、花が重そうに下を向いています。

それにしても、すべてのひまわりが、本当に同じ方向に頭を垂れているのは不思議です。もっと色々な方向を向いてもいいのに・・・などと思ってしまいます。小さい頃に、ひまわりは「太陽の方向を向く」と聞いたことがありますが、実際に見ているとそうでもないようです（学校のひまわりは、一日中、南東の方向を向いていました！）。しかし、きっと、何かの理由や機能があって、みんな同じ方向を向いているのでしょうね。



『こまっ子』は、白根巨摩中学校HPからも見ることができます。